

ヴィースの巡礼教会

出典: フリー百科事典『ウィキペディア（Wikipedia）』

ヴィースの巡礼教会(Wieskirche)はドイツバイエルン州南部、**ヴィース**（行政上はシュタインガーデン）にあるキリスト教教会。1745年から1754年にかけてヨハン・バプティストとドミニクス・ツィンマーマンによって建てられた。内装の**ロココ装飾**によって著名である。シュタインガーデンは**フュッセン**の近郊に位置する自治体。

目次

概要

登録基準

交通

外部リンク

概要

1738年、ある農家の夫人がシュタインガーデン修道院の修道士が彫った「鞭打たれるキリスト」の木像をもらい受けたところ、6月14日このキリストの像が涙を流したという。教会ではこれを奇跡とは認定しなかったが、この噂は「ヴィースの涙の奇跡」として広まり、巡礼者が農家に集まるようになった。1740年には牧草地の小さな礼拝堂に移したが、巡礼者は増える一方であった。そこでシュタインガーデン修道院が先頭に立ち、一般からの浄財を募るなどして建設資金を捻出し、1746年から建造されたのがこの教会である。1754年に献堂式が行われ、最終的に完成したのは1757年であった。設計はドイツ・ロココの完成者として名高いドミニクス・ツィンマーマンで、それまでも数多くの建築を手がけていたが、この教会には特別な愛情と情熱を傾け、完成後もこの教会から離れることを嫌い、すぐ近くに居を移し、亡くなるまでこの教会を見守り続けた。

外観は牧場の中に建つ、非常に質素な教会だが、**ロココ**様式の内部の装飾はヨーロッパ随一と言われており、特にその天井画は「天から降ってきた宝石」とも讃えられている。**ロマンティック街道**、**ドイツ・アルペン街道**の観光スポットの一つとなっている。

1983年、**ユネスコ**の**世界遺産**に登録された。

世界遺産

ヴィースの巡礼教会 (ドイツ)



ヴィースの巡礼教会	
英名	Pilgrimage Church of Wies
仏名	Église de pèlerinage de Wies
登録区分	文化遺産
登録基準	(1), (3)
登録年	1983年
公式サイト	世界遺産センター (https://whc.unesco.org/en/list/271/) （英語）

地図



使用方法・表示



天井画



内装



内装

登録基準

この世界遺産は世界遺産登録基準のうち、以下の条件を満たし、登録された（以下の基準は世界遺産センター公表の登録基準（<https://whc.unesco.org/en/criteria>）からの翻訳、引用である）。

- (1) 人類の創造的才能を表現する傑作。
- (3) 現存するまたは消滅した文化的伝統または文明の、唯一のまたは少なくとも稀な証拠。



交通

ヴィース教会はフュッセンとオーバーアマガウを結ぶロマンティック街道から少し離れた所にある。公共交通機関は一日数本のバスのみ。なお、ドイツ全土のバスの時刻はドイツ鉄道のホームページから検索可能である。

外部リンク

- ヴィース教会ホームページ (<http://www.wieskirche.de/>)
- ドイツ鉄道(Die Bahn)ホームページ (<http://www.db.de/>)



中央下が旧礼拝堂。右奥が1757年に完成した教会。

「<https://ja.wikipedia.org/w/index.php?title=ヴィースの巡礼教会&oldid=82878435>」から取得

最終更新 2021年4月7日 (水) 21:40（日時は個人設定で未設定ならばUTC）。

テキストはクリエイティブ・コモンズ 表示-継承ライセンスの下で利用可能です。追加の条件が適用される場合があります。詳細は利用規約を参照してください。